

1999「植村直己冒険賞」受賞者



大場満郎
山形県最上町在住

写真提供／光文社

史上初の北極海と南極大陸を 徒歩で単独横断に成功

趣旨

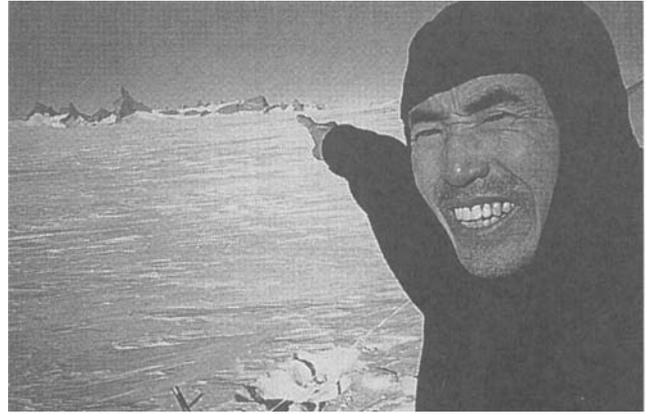
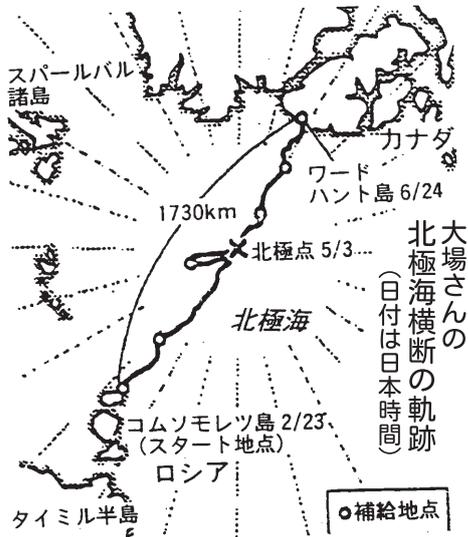
1997年2月から6月まで122日間をかけて、ロシアから北極点を経てカナダまで1730キロの北極海単独徒歩横断に成功した。挑戦4回目の快挙に、夢が膨らんだ。「もっと地球を肌で感じたい」とつぎの目標に初の南極大陸横断に挑戦することを決めた。

冒険内容

南アフリカのケープタウンから飛行機でスタート地点のドローニング・モードランドに11月9日到着。テントで仮眠をした後、食糧などを積んだ約160キロのソリを引きながらスキーで歩いて出発した。12月31日午後8時ごろ中間点の南極点に到達した。計画では1月下旬にエイツ・コーストにゴールする予定だったが、海岸まで200キロ手前の地点、ウォルグリーン・コーストまでで活動を終了した。

工夫、独創性

南極大陸の単独横断（3824キロ）は、徒歩とスキーでの挑戦だが、今回はパラシュートに似たパラセールを利用してスピードアップを図る。パラセールは、1990年イタリアの名登山家ラインホルト・メスナーさんも南極大陸横断（4200キロ）に成功した際に利用した。北極のような乱氷帯がなく平坦な雪原の南極大陸では、風を利用し、パラセールに引っ張ってもらい「滑走」が可能。98年5月下旬、グリーンランドでトレーニングに励み、97年には南極点ツアーに参加するなど周到な準備を行った。食糧や装備などを積んだソリの重さは、約160キロにもなる。無補給での横断を目指しているが、南極条約で環境保全が厳しく求められているため、排泄物やゴミを持ち帰るための空輸が必要となる。遠征中、冒険行の様様をインターネットで紹介したり、環境調査で雪の標本採取も行った。

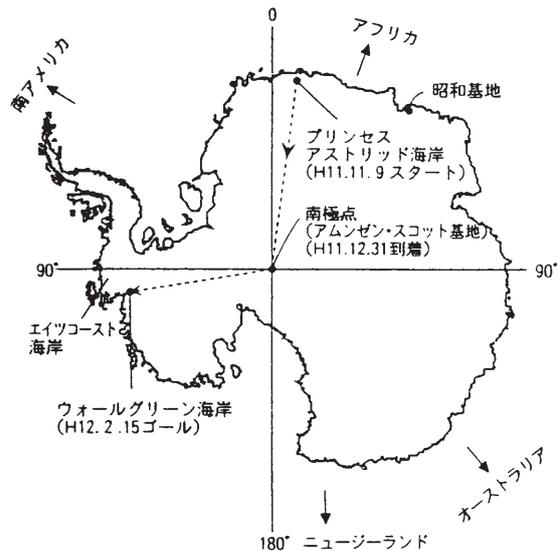


1998/11/8 南極のクイーンモードランドにあるシグニャブリーン氷河を出発。狼の牙と呼ばれる山ノルウェー語でオルバターナ山。



1997 4度目の北極海横断 昼食の時間

南極単独徒歩横断の足跡



冒険内容

- 1953年 山形県最上町の農家の長男として生まれる。
中学2年の時、鷹匠の沓沢朝治翁に弟子入り。
山形県立農業経営研修所で学んだ後、父の逝去のため20歳で農家を継ぐ。
出稼ぎを嫌い、平飼養鶏に取り組み成功。
世界の農業を視察するうちに、地球を舞台に冒険の夢を持つ。
- 1983年 アマゾン川6000キロをいかだで下る。
- 1985年 グリーンランド西海岸1400キロ単独徒歩行。
- 1986年 北磁極往復(900キロ)を単独徒歩行。
- 1987年 カナダ北極圏2000キロ単独徒歩行。
- 1989年 冬季シベリアカトウニ川徒歩行を次々に成功させる。
北極海横断は1994年から3年連続して失敗。
特に2度目の失敗では凍傷のため、足の指全てと手の指を一部切断。
- 1997年 6月には4度目の挑戦で史上初の北極海単独徒歩横断に成功する。
1997年度朝日スポーツ賞、1997年6月山形県民栄誉賞など受賞。

1999 冒険情報一覧表

	山	縦横断	海	極地	空	川	その他	計
個人活動	31	51	13	1	0	1	2	99
団体活動	64	8	6	1	2	11	0	92
合計	95	59	19	2	2	12	2	191